

9/28  
5.35



戦争法廃止の署名に応じる女子大学生ら=27日、大阪市

# 子を戦地に行かせない 戦争法廃止へ行動

## 新婦人宣伝 次々と署名

大阪

新日本婦人の会大阪府本部は27日、参院で戦争法が強行採決されるから初となる「安倍政治・戦争法許さない宣伝」を大阪市中央区の高島屋前で行い、21

人が参加しました。5人が戦争法の廃止を訴えてマイクを握り、「国民のくらしを良くしてほしいという願いこそ、安倍政権は応えるべきです」と呼びかけました。30分ほどの短い時間だったにもかかわらず、42人が戦争法の即時廃止を求めて署名。採決の進め方について

のシール投票では、賛成2に対し、35人が反対しました。自由に書き込める「安倍政治について私は言いたい!」には、「九条守って笑顔の日本を」「子どもを戦地に送りたくない」など多くの意見が寄せられました。参加した中学1年生は「学生が戦地に行かされるかもしれ

ないから廃止にしてほしい」と話しました。対話になった中国人留学生は「日本が大好きです。安倍総理が中国を仮想敵国と見ていることが悲しい」と語りました。

## パレードで にぎやかに

東京・練馬

戦争法を廃止して安倍政権の暴走を止めよう27日、東京都練馬区内の八つの九条の会が集まり、「9・27平和パレード」を行いました。100人を超える市民が「戦争法はただちに廃止」「9条守れ憲法壊すな」と唱和



戦争法廃止を掲げてパレードする人たち=27日、東京都練馬区

し、約1・5キロをにぎやかに歩きました。「何かしなくてはと初めて参加した」という林しほみさん(50)は、母親の玲子さん(85)と歩きました。高校生と大学生の子どもを持つしほみさんは「絶対に子どもたちを戦争に行かせたくない。母たちが守ってきた平和を壊したくない」。玲子さんも「娘たちの世代に平和を受け継がなくてはいけない

い」と憤ります。「女たちは平和を希望(のぞ)みます」と書いたボードを首からさげていたのは同区在住の遠藤悦子さん(62)。「日本が70年間戦争しなかったのは9条があったから。国民の声を無視し、政府が勝手に解釈をねじ曲げるのは許せない」

インターネットで知り、横浜市から駆けつけた中国人留学生の曹雨(ツァオ・ユウ)さんは、法学部で日本国憲法を学んだといいます。「すべての法律は憲法を守らないといけないと教わりました。国の主人公として日本のことを考え、憲法違反だと声を上げる人たちに感動しました」

商店街を通るパレードをじっと見つめていた男性(95)は「戦時中、軍需工場できつい作業をさせられた。戦争は絶対にしてはいけない」と語りました。